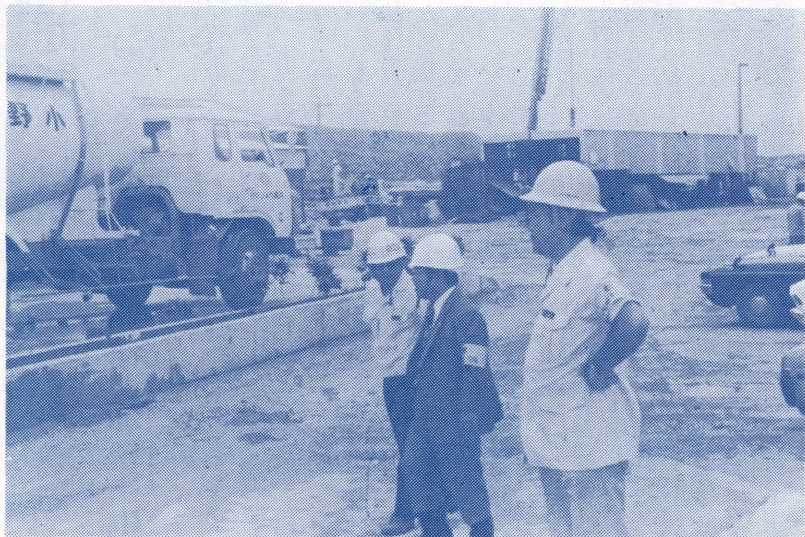


第6回環境週間終る

6月5日から11日まで



事業所の立ち入り調査、中央は平安助役右は玉那覇建設課長、事業所の職員から説明を受けているところ（6月8日、東洋コンクリートで撮影）

工場、畜舎の立入り調査を実施

産業廃棄物の保管、処理に主眼

本村では、六月五日～六月十一日の環境週間にちなんで下水排水への防疫殺虫剤散布、工場、畜舎の立ち入り調査、清掃検査を行なった。

六月八日、環境週間ではじめての工場、畜舎の立ち入り調査を実施。平安助役はじめ関係課長、職員、養豚組合長合わせて七名で清掃状況や公害対策状況を見て回った。

この調査では

- (一) 産業廃棄物の保管及び処理の状況、衛生管理、清掃実施状況
- (二) 緑化（植樹の）の促進状況
- (三) 工場排水、雨水等の導水路整備に主眼が置かれた。

その調査で、工場関係において、全般的に、敷地内の草刈作業が実施されていない、排水路は、石、空缶等がつまり排水の流れを阻害している状態で衛生管理面の不十分さが目立った。畜舎については、ふん尿等を河川に流しているところもあり、法による罰則の適用をも検討しなければなら

9月3日は村議選の投票日

二十一人の議員を選ぶ

西原村選挙管理委員会（糸数雄介委員長）は、現在の村議会議員の任期が今年の9月27日で満了することに伴い村議会議員選挙を次の通り決定した。

一、投票日

昭和53年9月3日

二、告示（立候補受付）

昭和53年8月27日

三、登録基準日

昭和53年5月26日

四、縦覧期間

昭和53年8月27日から8月28日まで。午前8時30分から午後5時まで。

五、議員定数

二十二名。

投票の御注意

◎投票できる人
村議会議員選挙で投票できる人は、年齢満二十才以上の日本国民

発行所
西原村役場
電話(09894)5-5011～3
印刷
西原印刷

村の世帯・人口

(昭和53年6月末日現在)

世帯数 3,572世帯
人口 15,073人
男 7,666人
女 7,407人

6月の人口移動

出生 28人 死亡 1人
転入 70人 転出 62人
婚姻 9件 離婚 2件

らないほどひどい管理状態である。

次に、産業廃棄物の処理状況であるが、調査の対象になったほとんどの工場が、保管施設や敷地内の一定の場所を利用して保管しており、処理も業者への委託が自社処理で行なっている。この中で、埋立処分を行なっている工場等については埋立面積や容積（量）が不明確で、業者委託している工場等については、監督不行き届きの点があり処理計画の緻密さに欠けている。また、ある工場において、廃棄物の再利用や肥料化を進め、減量化に努力している。

村としては、今回、百八十数箇所におよぶ工場等に対し、文書による環境保全対策実施の要請をしたわけですが、その中で、巡回調査できたのはわずかで、ほとんど

が、会社側の積極的な公害対策実施に期待したところが大きく、今後、これを改める方向で検討し、継続的な立入調査を行ない、公害対策を強く指導するとともに、環境保全の監視体制を一層強化する方針である。

また、村内各区では、六月十一日に明るい環境づくりを目ざして公民館、子供の遊び場、道路沿などの草刈りや排水下水の溝さらいの共同作業が一斉に行なわれた。

六月十二日から十三日は、村清掃検査指導員、各区事務担任者、各区婦人会役員によって各区や各事業所の清掃検査が行なわれたが、その成果が認められた。

共同作業に参加された村民の皆様にも深く感謝すると共に今後とも住みよい村づくりにご協力下さるようお願いいたします。

能力再開発訓練生募集要項

① 訓練職種、定員、期間	
訓練職種	定員
電気工	25名
溶接工	25名
建築科	25名
期間	
1ヶ年	1ヶ年

② 入校資格

雇用保険受給者及び一般求職者で義務教育終了者又は、これと同等以上の学力を有し、身体健全、就職の意志堅固な者、但し、色神聴力異常、伝染性疾患のあるものは不可。

③ 申し込み方法

入校願書（安定所に備えてある）に住民票（抄本一部）、公立病院等の健康診断書及び写真（サイズ4×3cm3葉）を添えて公共職業安定所へお申し込み下さい。

④ 受付期間

昭和53年8月10日から昭和53年9月8日まで

⑤ 入校選考

選考日 昭和53年9月12日（火）

選考場所 沖縄南総合高等職業訓練校

⑥ 合格発表

昭和53年9月13日（水）午後

当訓練校及び公共職業安定所で発表する。

その他詳しいことは、公共職業安定所へ問い合せ下さい。

村農協通常総会終る キビ株の集団更新を推進

村農協協同組合（城間光雄組合長）では、六月二十七日午後一時から村役場ホールで組合員約六百名を集め昭和五十三年通常総会を開いた。

今回提出された議案は、昭和五十三年度事業報告書、内国為替取引規程の一部変更、昭和五十三年度事業計画の設定、昭和五十三年度貸付金利率の最高限度決定、昭和五十三年度一組合員に対する貸付金最高限度決定、昭和五十三年度借入金最高限度決定、出資金の増資計画の設定、昭和五十三年度余剰金預け先金融機関の指定、昭和五十三年度役員報酬決定など九件で総て原案通り可決された。

昭和五十三年度事業計画では、購買事業で組合員の応えうる供給体制を確立するため、生活資材については店舗購買を廃止し、予約購買、共同購入を主軸に需要度の高い品目を選定し、供給する方針。



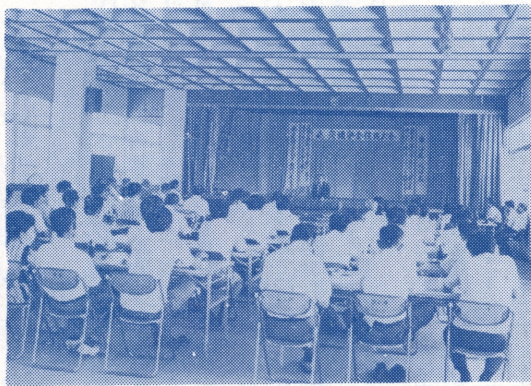
昭和53年事業計画の説明をする組合長（6月27日村役場ホールで）

また、さとうきびの増産を図るため、村産業課の提唱する古株集団更新に参加した生産者に対し、農協から坪当たり十円を助成する。野菜、花卉、肉豚、仔豚、肉牛等の共同販売の拡充もねらわれる。

そのほか、組合員との対話の場として貯畜運動を展開し、信用事業の強化を図る一方、農協共済の普及推進にも力を入れる計画だ。

総会は午後四時に終り、午後四時から沖繩民謡、沖繩劇などの余興が催された。最後に歌手城明さんにより「ふるさとの花」と「さとうきび音頭」が歌われ、村農協ならではの企画であり、組合員の拍手喝采を集めた。

730交通安全住民大会 大会宣言採択



「730に向けての交通安全に万全を」と述べる宮平村長

七三〇交通方法変更、村役場全課長、警察、各区事務担任者、及び住民約百名を集め、七月十七日午後二時から村役場ホールで、村三三〇交通安全住民大会を開いた。

主催者を代表して宮平村長があいさつに立ち「七三〇に向けて住民の交通安全対策に万全を期し、平和な村づくりを旨とし

よう。」と述べた。

その後、村議会議長（親泊輝武）、村教育委員長（仲宗根英輝）、与那原警察署長（中真靖郎）、地区交通安全協会会長（奥原崇実）から激励のあいさつを受けた。

また、交通安全確保方法の指導説明、住民との意見交換なども行なわれた。

最後に、平安助役によって大会宣言文が読み上げられ、全会一致で採択された。

大会宣言は、次の通り。

七三〇交通安全住民大会の大会宣言

私達は、七三〇交通方法変更を成功させ、日本一交通安全な郷土を築くため、次のことを実践することをここに宣言する。

一、事故を呼ぶ、酒酔い、無免許、疲労、過速度運転をしません

南風村～西原村間の 県道新設について

県道一五五号線（西原村字池田）と県道四〇号線（南風原村字大名）を連結する道路として、現在のところ巾四メートル程度の道路が約一、六〇メートルあつて利用されておりますが、最近におけるモーターゼーションの発達、このような少巾員な狭道路にも押し寄せ毎日、自動車の往来が著るしく、路面の破損と路肩の欠壊等が発生している実情であります。

かかる道路を県の責任において整備し交通網の再編成等調整し、当該地域への県道新設を希望するものであります。

特に国道三二九号の与那原町附近の交通渋滞は、現在相当なものであり、その緩和対策としてもぜひ県道新設の必要性が痛感されます。

本道路の新設貫通によって、本村からの南部地区への最短経路としての理想的な県道となり地域の開発促進と産業の発展につながり、与那原方面の交通量の分散緩和を図る面から何卒、検討の上、県道新設をしていただきますよう要請致します。

昭和五十三年七月四日
西原村長 宮平吉太郎
沖繩県知事 平良幸市殿

道路の横断は 右をみて、左をみて、もう一度右をみて

六月二十六日から二十八日にかけて、三日間の会期で昭和五十三年度第四回定例会が開かれた。

今議会に提出された案件は、議案六件、決議案二件の計八件で総て原案通り可決された。

また一般質問は、最終日に行なわれた。

なお、今議会に提出された議案及び決議案は次の通り。

※議案第一九三号
西原村特別土地保有税審議会条例を制定する条例について

この条例は、地方税法第六〇三条の三第三項の規定に基づく西原村特別土地保有税審議会の組織及び運営に関する事項を定めることが目的で制定された。

この審議会は、土地利用、都市計画又は土地に関する税制について学識経験のある者及び地方公共団体の職員のうちから、村長が任命する三人の委員をもって組織される。委員の任期は

二年。

※議案第一九四号
昭和五十三年度西原村一般会計補正予算について

今回の補正は、才入では前年度からの繰越金六、二二九万七千円、坂田幼稚園園舎の建設費に充てるための村債七八〇万円、その他七四万四千円で才入追加額七、〇九四万一千円となる。

※議案第一九五号
西原村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する

村一般会計補正予算
二二億八、六六八万八千円
第四回定例議会

才出の主なものは、今年九月の村議会議員改選による議場及び事務室の改築に要する工事費三、四四五万二千円、道路維持費三〇〇万円、道路新設改良費で呉屋部落内と翁長部落内の道路舗装工事費一、〇二四万円、都市計画費で我謝兒童公園前排水整備工事費二〇〇万円、教育

特別土地保有税審議会委員の報酬の額を加えた。

※議案第一九六号
昭和五十三年西原村国民健康保険特別会計補正予算について

才入才出予算総額に才入才出それぞれ一、〇二七万四千円を追加し、才入才出予算の総額を

特別土地保有税審議会委員の報酬の額を加えた。

※議案第一九六号
昭和五十三年西原村国民健康保険特別会計補正予算について

才入才出予算総額に才入才出それぞれ一、〇二七万四千円を追加し、才入才出予算の総額を

二、道路横断は、右左をよく見て安全を確めてからわたります

三、自転車の二人乗り、無灯火運転はやめて道路の左側を正しく通行します

みんなで育てよう守ろう青少年

村青少年健全育成協議会総会開く

村青少年健全育成協議会（宮平吉太郎会長）では、青少年を非行や交通事故、水難事故から守り明るい社会を築こうと七月二十一日午後二時から村委員会室で役員約三十名の出席の下に昭和五十三年の総会を開いた。

席上、昭和五十二年事業報告、昭和五十二年度決算報告、監査報告、昭和五十三年度事業計画案審議、昭和五十三年度予算審議がなされた。

昭和五十二年度事業報告では、昨年の七月から八月にかけて「思春期における性教育について」（知念仁幸氏）の講演、水難事故防止運動チラシ配布、夜間補導、昼間巡回指導などを展開。昭和五十三年三月には小学生バレーボール大会を実施した。

昭和五十三年事業計画では、八月に海、池、たまり場その他危険な場所をパトロールし、事故や非行を未然に防止するため昼間巡回指導、非行防止のため夜間補導、スポーツを通して青少年の健全育成を図るためスポーツ大会が実施される。そのほか、指導資料として、必要に応じ科学的な諸検査及び調査等が随時実施される。

また、有害物の追放運動や業者への自の呼びかけ等地域社会の啓蒙宣伝を実施し社会環境の浄化も随時図る計画だ。

七月、八月は、児童生徒にとって夏休み期間中であり、学校生活から解放され、海に出てレジャーを楽しむなど、昼間、夜間の外出が多くなるなどの不規則な生活のため、特に不良化、水難事故、交通事故などが起り易い時期でもある。それらを未然に防止するため、家庭及び社会全体の協力が必要である。村青少年協では、今年も七月から八月にかけて夏休み中の夜間補導を実施する。村役場職員、村内小中学校PTA、各代表から延べ九十九人を動員し、村一円を三班に分けてパトロールする。このねらいは青少年の夜間外出の自粛を促し、非行を防止し、社会環境の浄化を図ることである。

同時に、家庭生活での親子の対話によって、子ども達の行動を監視し、正しく導くのは親に期待する。

統計グラフ沖縄県コンクルの

お知らせ

一、主催

沖縄県、沖縄県統計協会

二、目的

県民に対する統計思想の普及向上と統計の表現技術の研さん。

三、応募資格

- 第一部 小学校三年生以下の児童
- 第二部 小学校四年生以上の児童
- 第三部 中学校の生徒
- 第四部 高等学校以上の学生生徒
- 第五部 一般

四、課題

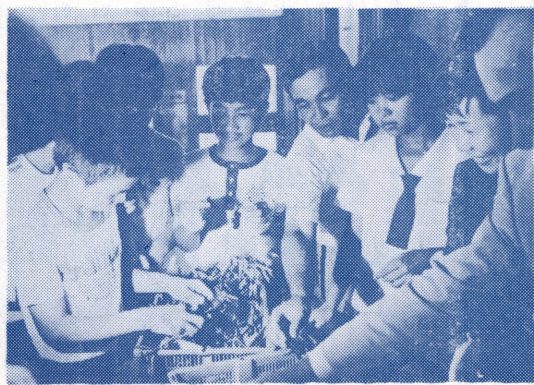
課題は各部とも自由とする。ただし、小学校の第一部の作品については、児童が観察したものとする。

五、応募の方法

七月、八月は、児童生徒にとつて夏休み期間中であり、学校生活から解放され、海に出てレジャーを楽しむなど、昼間、夜間の外出が多くなるなどの不規則な生活のため、特に不良化、水難事故、交通事故などが起り易い時期でもある。それらを未然に防止するため、家庭及び社会全体の協力が必要である。村青少年協では、今年も七月から八月にかけて夏休み中の夜間補導を実施する。村役場職員、村内小中学校PTA、各代表から延べ九十九人を動員し、村一円を三班に分けてパトロールする。このねらいは青少年の夜間外出の自粛を促し、非行を防止し、社会環境の浄化を図ることである。

同時に、家庭生活での親子の対話によって、子ども達の行動を監視し、正しく導くのは親に期待する。

熊本県から友情の使者西原へ カブト虫とクワガタ虫3,000匹



カブト虫とクワガタ虫を手に喜ぶ子供達
(西原小学校体育館で7月18日)

七月十八日午後一時半西原小学校体育館で熊本県鹿本郡鹿本町の山内小、千田小、米野岳（めのだけ）グループ社長・高森曉秀さんをは

バス路線の延長

について（要請）

時下、益々御健勝の段お慶び申し上げます。

さて最近のモータリゼーションの発展は都市交通の機能低下をもたらし大きな社会問題となつていくことは、誠に憂慮すべき事態となつております。

かかる実情の解決もバス事業の健全化を図り適正な交通体系の確立が急務ではなからうかと思われ

ます。

本村のバス運行経路としては、国道三二九号と県道三八号線の沿線と一部村道を通する兼久、与那城、我謝の住民と朝夕各一回運行している棚原、上原を通過する中線を除いてバスの恩恵を受けてない実状であり住民の切実な要望として村当局に再三の訴えが数多く出されてお

り、地域住民の福祉増進を図る見地からバス路線の実現は、急務となっております。

特に新興住宅地となつた小波津団地（戸数二五五戸、人口一、〇二五人）を筆頭に、字小波津、安室、桃原、池田部落を含め合計戸数五三七戸、人口二、二八四人の受益者がかえ早急に解決されるべき問題となつております。

何卒現在の石嶺団地前終点を変更して城東小学校前を通り県道一五五号線を東に向けて池田部落、小波津団地を経て村道を利用し桃原部落、安室部落までの間約四、三キロメートルを延長して西原村中央部へのバス路線設置を実現していただきますよう関係者住民に代つて要請致します。

昭和五十三年七月六日
西原村長 宮平吉太郎
那覇交通株式会社
社長 白石武治殿

現は、急務となっております。

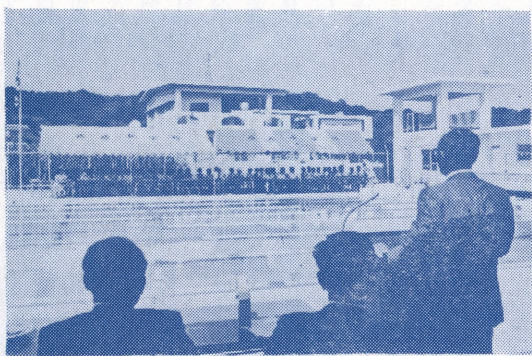
八月の行事

- 4日 行政相談
- 7日 西原・与那原の婦人交流会
- 19日 少年団リーダー研修、青年野外活動、いずれも20日まで
- 21日 一般・老人健康診断開始、9月9日まで継続。各区で実施。
- 23日 小学生バレーボール大会
- 25日 生活福祉臨時給付金の申請締切
- 27日 村会議員選挙告示

青少年の夜間外出は 皆なで指導し、明るい社会!!

西中 プール落成祝賀会開く

西原中学校（松田洲弘校長）で、七月十九日午後三時から昨年は、十二月二十日に完成した同校プールでPTA、工事関係者及び教育関係者、村議会関係者、村役場三役、全課長などの約百名余を集めた落成祝賀会を開いた。



経過報告とあいさつを述べる松田校長

PTA会長（比嘉貞祐会長）のあいさつを受けた後、松田校長による経過報告とあいさつがなされた。乾杯の音頭（仲宗根英輝教育委員長）、同校バンド部による校歌演奏、生徒会代表謝辞（屋良枝美子生徒会長）、来賓祝辞（宮平古太郎村長、親泊輝武議長、伊佐真徳中頭教育事務所長）と続いた。

フィリピンの貧しい人々に 引続き救援活動を

さきに、私どもがフィリピンのセブ島に行つて、まづしい人々についてみききしたことをお知らせ致しましたが、その後村民の皆さんから続々と救援の古着が寄せられました。浦添、南風原、具志川等村外からもわづ／＼運んできて下さいました。川崎さんのお話によりますと、いままで多い時が三〇〇箱程度だったが、こんどは、一千箱をこえた救援物資がどつとあつたそうです。こんな大量の品物をどうやってはこぶかいという思いめぐらしていたところ、幸に、アメリカ軍の船で無料で運んでもらうことになったそうです。この船は毎月フィリピンに行くので、救援物資はいくらでもたんで運んでもらうことになったそうです。

川崎さんが三年前救援活動をはじめたころは、輸送費も自己負担だったが、県知事平良さんが航空会社に協力要請をしていただいた結果、航空運賃は無料となったそうです。この度、琉球新報でもフィリピンの貧しい人々への救援活動に深い御理解のもと、救援金の窓口になつていただくことになりました。この時あたり、村の三つの学校がそろつて救援活動に参加していただき、児童会、生徒会が中心になつて一円玉をあつめて救援金にあてようと、三校で四万円余の尊いお金が川崎さんにとどけられました。川崎さんも大変感激し、「このような美しい心がほしいです。」とおっしゃいました。

OB・婦人とも六区が優勝 村民バレーボール大会

